

まわりほどり通信

山形県立河北病院看護部通信
第9号 平成29年10月5日



山形県看護協会事業 西北村山地域等看護力連携会開催

今年度、県立河北病院が事務局となり、標記事業を展開する事になりました。
この連携会は、西北村山地域等を中心に病院・訪問看護ステーション・保健所に勤務する保健師、
看護師が協力し、地域で暮らす方々を支援する為の連携強化と看護力の向上を目指すものです。
まずは、第1回目の会議が9月29日（金）に開催されました。

各施設からは、自施設で学ぶ機会の少ない分野
での実習（視察等）や、交流を行う事でお互いの
理解が得られる事、そして、西北村山等地域全体の
看護力が向上される事への期待などが出されました。



訪問看護派遣事業

1期；平成29年9月1日～11月30日
2期；平成29年12月1日～2月28日

平成28年度 当院の看護師1名が
看護協会の「訪問看護における人材活用試行事業」
に参加し、在宅看護療養支援状況について多くの学びを得、今年度は在宅医療支援室にて
看護支援に力を発揮してもらっています。そこで平成29年度は、在宅を見据えた看護支援
のさらなる充実を考え、山形県健康福祉部健康長寿推進課の「訪問看護担い手創出事業」
に参加しています。現在、訪問看護ステーションへの出向が始まり、早くも1ヶ月を過ぎ
ようとしています。出向の合間に病院に帰院し現状報告を受けていますが、在宅看護の難
しさはあるものの、多くの学びがあり充実した日々を送っているようです。



お世話になっている看護協会立訪
問看護事業所の方々と一緒に



利用者さんのご自
宅へ訪問看護し、
リハビリをさせて
もらいました。